

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字入間 地内			事業主体	山形県
整備面積	7.1ha	樹種	スギ	林齢	36～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・枝打ち 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字間沢 地内ほか			事業主体	西村山地方森林組合
整備面積	50.2ha	樹種	スギ	林齢	16～60年生
整備内容	<p>当該箇所は、県内有数の森林資源を有する地域であるが、下刈りや除伐以降の手入れがあまり行われず、長期にわたり放置された林分も見受けられた。</p> <p>このため、本事業と森林施業直接支援事業も活用しながら、適正な立木密度となるように間伐、枝打ちを行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡金山町大字飛森字春木前山 地内	ほか	事業主体	山形県	
整備面積	30.0ha	樹種	スギ	林齢	18~26年生
整備内容	<p>当該箇所は、下刈り後の手入れがなにもされておらず、著しく成長の不良な木が目立つ状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡真室川町大字川ノ内 地内		事業主体	山形県	
整備面積	55.2ha	樹種	スギ	林齢	20~59年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐や除伐といった手入れが植栽後から行われておらず、過密に生育したスギ林であり、成長の不良な木や雪害等の被害木が多い状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐、刈払い、下枝落とし 】			
整備箇所	南陽市大字太郎	地内	事業主体	山形県
整備面積	0.17ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密のまま長期間放置され、造林木の肥大成長の低下と下枝の枯れ上がりが発生していた。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるように間伐を行い、また下枝落としを行うことでスギの成長促進と森林の公益的機能の維持増進を図った。</p>			



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】			
整備箇所	西置賜郡白鷹町大字滝野	地内	事業主体	山形県
整備面積	0.64ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密のまま長期間放置され、被圧木や枯損木が目立つ状態となっていた。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるように間伐を行い、スギの成長促進と森林の公益的機能の維持増進を図った。</p>			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	酒田市中野俣 地内			事業主体	山形県
整備面積	3.55ha	樹種	スギ	林 齢	35～45年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育し、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行い、生育空間の確保による林木の健全な成長及び林内の光環境の改善により、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	鶴岡市小国 地内			事業主体	温海町森林組合
整備面積	39.25ha	樹種	スギ	林 齢	55年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期に渡って放置されたため、雑木の侵入もあって林内が過密な状態であり被圧木や枯損木が目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行うことで、健全な森林に生育するとともに、森林作業道を整備することにより今後も適正な管理が継続的に行われ、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

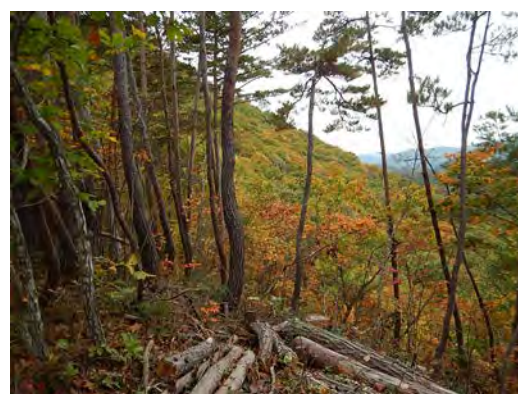
やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 】				
整備箇所	上山市大字藤吾 地内			事業主体	山形県
整備面積	19.3ha	樹種	アカマツ、ザツ	林齢	58年生
整備内容	<p>当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木の増加により荒廃し、天然更新が難しい状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の健全化と居住環境の保全を図った森林となることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 (間伐・下刈) 】				
整備箇所	上山市大字小笹 地内ほか			事業主体	上山市
整備面積	2.9ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	50~80年生
整備内容	<p>上山市では、サルやクマ等の野生動物が田畑や住宅周辺に出没することがあり、農作物被害に悩まされてきた。</p> <p>そこで、当事業を活用して下刈りと抜き切りを実施し、人と動物との共存を図る森林緩衝帯（バッファゾーン）を整備した。さらに、住民が電気柵を設置し、当事業による森林整備と一体的に有害鳥獣対策が行われた。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （被圧木伐採・下刈） 】				
整備箇所	最上郡最上町大字黒沢 地内 ほか			事業主体	最上町
整備面積	11.4ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	6-96年生
整備内容	当該箇所は、人家や農地の周囲、幹線道路沿いの森林のうち、イノシシによる農業被害等が多発しており、人と野生動物との生息域の境界があいまいになっている状況であった。そのため、林内の下草の刈払い、枯損木の伐採等を行い、イノシシ等が隠れられない見通しのよい森林とすることで、野生動物との緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （間伐・下刈・枝打ち・つる切り） 】				
整備箇所	最上郡戸沢村大字角川 地内			事業主体	戸沢村
整備面積	2.0ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	50~96年生
整備内容	当該箇所は、人家の周囲や幹線道路沿いのうち、人の手が入らず人里と野生動物の生息域の境界があいまいになっており、野生動物の目撃及び被害等が発生している状況であった。そのため、見通しを悪くしている林内の下草の刈払い、枝打ち、景観を損ねている枯損木やつるの伐採を行うことで、見通しのよい森林になり、野生動物との緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 (松くい虫・ナラ枯れ被害木処理) 】				
整備箇所	西置賜郡飯豊町大字手ノ子	地内	事業主体	山形県	
整備面積	14.79ha	樹種	アカマツ・ナラ	林齢	24~93年生
整備内容	<p>当該箇所は、過去にマツクイ・ナラ枯れ被害が発生した箇所であり、多数の枯損木が林内に存在し、このまま放置すると倒木等による二次被害が懸念される状態だった。</p> <p>そのため、本事業により森林病虫害等による枯損木の伐倒、玉切り及び集積を行い、森林環境の保全と里山林の早期再生を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 (下刈) 】				
整備箇所	東置賜郡川西町大字朴沢	地内	事業主体	川西町	
整備面積	0.2ha	樹種	ザツ	林齢	72年生
整備内容	<p>当該箇所は、道路、人家及び畑地に隣接しており、雑草木やつる性植物が密生し著しく景観が悪化していたため、野生動物の侵入路や隠れ家となっており、現地住人の生活との間で軋轢が生じていた。</p> <p>そのため、本事業により刈払いを実施し、野生動物との緩衝帯を創出した。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 (松くい虫被害木処理) 】				
整備箇所	酒田市浜中 地内 ほか			事業主体	山形県
整備面積	89.76ha	樹種	クロマツ	林齢	3~142年生
整備内容	<p>当該箇所は、海岸前線部のクロマツ林であるが、松くい虫被害木や手入れ不足による枯損木が増加し、飛砂防備効果の発揮が懸念されていた。</p> <p>このため、本事業により病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、荒廃した海岸林の活力再生と居住環境の改善を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 (刈払い、抜き切り) 】				
整備箇所	遊佐町当山 地内			事業主体	遊佐町
整備面積	0.13ha	樹種	広葉樹	林齢	50~66年生
整備内容	<p>当該箇所は、主要地方道沿線で、灌木等が繁茂するなど林内は過密な状態で、景観が著しく悪化していた。</p> <p>このため、刈払い、広葉樹の抜き切りを実施し、景観の保全を図った。</p>				



整備前



整備後